

タイトル： 職場というのは

会社名： ハラスチール 氏名： アウソウモ

出身国： ミャンマー

二年前、私は大きな期待と、それ以上の不安を胸に日本へ来ました。私の職場は建設現場で使われる鉄筋を加工する工場です。仕事を始めて数ヶ月が経ち、私は機械の操作など重要な仕事を任されるようになりました。そのときの私は機械を正確に使いこなそうというより上司や先輩たちにすごいと思わせたいという気持ちで溢れていました。その焦りとプライドが私の判断を狂わせました。先輩が何かを説明してくれる時完全に理解できていなくても質問したらできない人だと思われるのが怖いという小さなプラドがじゃまをしてうそをついてしまうのです。毎日、君が切った鉄筋また長さが違うと本数が足りない。一日に何十回も注意されるのが当たり前になっていました。最初のうちは彼は新人だから仕方ないと大目に見てくれていた先輩たちの表情も失望の色に変わっていくのが分わり本当に辛かったです。自分でもなぜこんなに集中しているのに何度も間違えるのが分からなくなっ

TODA MIRAI FOUNDATION

タイトル： 耳聾場というのは

会社名： ハラスチール 氏名： アウソ ソウ モー

出身国： ミャンマー

ていました。ある日、私の仕事に対する考え方を根底から変える出来事が起りました。朝礼のとき工場長が全員に一枚の紙を配りました。一瞬、ボーナスの知らせかと思いました。しかし全く違いました。それは過去二ヶ月間に工場で発生したミスのリストとこれによって会社が被った損害額が書かれた紙でしたのです。工場長は静に語り始めました。私たちの仕事はこの工場では鉄筋を加工して終わりではありません。それが建設現場に運ばれ、正しく組み立てられて完了するのです。もし本数が足りなかったり曲げ間違ったりすれば現場の作業は止まり大きな損害が出ます。そのとき、手元の紙に目を落とししました。約30件の合計損害額として100万円という数字が書かれていました。100万円..その金額の大きさに私は頭を殴られたような衝撃を受けました。皆さんがこれぐらいいから大丈夫だろうと思って仕事をする。その何気ない一ミスのミスの工場の外にいる他の人々に大きな迷惑をかけ、

TODA MIRAI FOUNDATION

タイトル:

職場というのは

会社名: /ハラスチール 氏名: アウソ ソウ モー

出身国: ミャンマー

会社に深刻な損害を与えてしまうのです。でも
それから自分自身の仕事には全ての責任を持ち
最後まで気を抜くことなく、真剣に集中して
取り組んでください。工場長はそう強く語り
話を締めくくりました。そして、その約30件
の中には少なからず私のミスも含まれている
ことに気づきました。他人からの評価ばかり
を欲しがった自分の過ちを深く後悔しました
。その日を境に私の仕事への意識は180度変わ
りました。自分の仕事はすべて自分に責任が
ある。私は毎日そう心に刻み込むようにしま
した。一つ一つの作業の前に寸法を二度三度
と確認をする。分からないことは恥を捨てて
教えてくださいと頭を下げる。すると、不思議
なことが起こりました。あれほど繰り返し
ていたミスが減っていったのです。注意され
る回数が減り先輩たちの表情も和らいでしま
した。そして何より一日を無事に終えられた
時心からの満足感とやりがいを感じられるよ
うになりました。私たちの会社には毎年新し

TODA MIRAI FOUNDATION

タイトル: 職場というのは

会社名: ハラスチール 氏名: アウソ ソウ モー

出身国: ミャンマー

い技能実習生が入っています。後輩たちは努力次第で短期間で技術を身につけることができます。それから5年7年と働いてきた先輩たちのこうすれば危ない、であらうこうするべきであるという経験から来るアドバイスには単なる技術以上の重みがあります。その価値を今ならよく理解できます。学校が私たちに知識を教えてくれる場所であるならば職場は人生で遭遇する困難や乗り越えるべき壁として責任という人生で最も大切なことを教えてくれる実践的な学校なのだと私は今心から思ういます。仕事とは自分自身の行動一つ一つに責任を持つことを学ぶための最高のトレーニングの場です。これからも、私はこの日本という素晴らしい国で技術を学び、一人の責任感ある社会人として、成長し続けていきたいと思います。